

瀬戸内寂聴さん死去

作家で僧侶、文化勲章

99歳、愛と業を描く

愛と人間の業を描いた小日、関係者の取材で分かった。99歳。徳島市出身。自
説や心に寄り添う法話で知られ、文化勲章を受章した
作家で僧侶の瀬戸内寂聴
(せとうち・じゃくちよう)
さんが死去したことが11

・曲愛玲」で新潮社同人雑
宅は京都市右京区嵯峨鳥居
本仏餉田町7の1、寂庵。
1957年、「女子大生
1957年、
「女子大生
「女子大生

誌賞受賞。「夏の終り」で
63年に女流文学賞。「かの
子療乱」美は乱調にあり」
などの伝記小説を次々に発
表した。
73年、岩手県の中尊寺で
得度し、その後、本名も晴
美から法名の寂聴に改め
た。京都・嵯峨野の自坊、
寂庵に暮らし、定期的に法
話を開催。岩手県の天台寺
住職も務めた。

98年に「源氏物語」の現
代語訳を達成し、平成の源
氏ブームをけん引した。
晩年まで創作意欲は衰え
ず、世阿弥を描いた200
7年出版の「秘花」がベス
トセラーになった。



インタビューに答える瀬戸内寂聴さん(2016年6月、京都市の寂庵)